

令和8年度 鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり協議会

令和8年9月28日（月）14時～
市役所本庁舎6階 会議室6-4

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

【報告事項】

(1)第3次鳥取市人権施策基本方針実施事業の取組状況について P2
別添「資料1」「資料2」

(2)麒麟のまち官民連携プラットフォームの包括化と
麒麟のまち地域食堂ネットワークの法人化について P4

【協議事項】

(1)人権に関する市民意識調査について P8 別添「資料3」

4 その他

5 閉 会

【報告事項（１）】実施事業の評価、進行管理について

第3次人権施策基本方針に基づく実施事業を抽出

進行管理について

- 7月 実施事業の取組、前年度事業の評価
- 8月 庁内会議で検証、改善策等の検討
- ★ 9月 人権尊重の社会づくり協議会で報告
- 2月 庁内会議（実施事業仮評価、課題の共有、改善）
- 3月 人権尊重の社会づくり協議会で報告、意見集約

実施事業の評価方法について

- 目的の達成度で評価
- ★ 5割未満
 - ★★ 5割以上
 - ★★★ 8割以上

実施事業の状況【別紙資料】

	< 2025年5月 > 令和6年度実績	< 2026年9月 > 令和7年度実績
第3次人権施策基本方針実施事業	83事業	83事業
★★★8割以上の評価	76事業 全体92%	82事業 全体99%
★★5割以上の評価	7事業 8%	1事業 1%
★5割未満の評価	－事業 ー%	－事業 ー%

人材育成（職員研修計画）について

人権施策基本方針第3次改訂 第3章 基本的施策の推進と体制の確立 1 基本方針と基本的施策 (2) 人権意識の高揚を図る取組

1 人権に関する一般研修

第52回人権尊重社会を実現する市民集会

日時 10月7日(水) 10時～15時
場所 とりぎん文化会館
内容 全体会 講演会
テーマ 障がいのある人の人権問題
講師 垣内俊哉さん(株式会社ミライロ代表)
分野別分科会
こどもの人権:不登校
男女共同参画:アンコンシャス・バイアス
同和問題(部落差別):インターネット上の部落差別
障がいのある人の人権:あいサポート運動
地域における人権の取組:地域社会における人権教育・啓発
企業における人権:ジャーナリストの視点での同和問題
特別分科会(大学生と考える人権):大学生が普段疑問に思っていること
特記事項 「麒麟のまち圏域連携事業」として開催します。圏域の人権担当者と啓発や教育活動の情報共有も行います。

2026年度 人権とっとり講座

日時 6月29日～10月19日 別添チラシのとおり
場所 【講義】鳥取市人権交流プラザ 【講演会】とりぎん文化会館 第1会議室
参加 482名(うち市役所等職員139名)(8月7日時点)
内容 「なにが問題?どこに問題?」をテーマに6回の講義と講演会を開催

2 職員研修

同和問題研修(人権推進課)

日程 7月2日(木) 9時30分～、14時～
対象 課長補佐級、係長級の職員(参加者数65名)
講師 中江美紀さん(公益社団法人鳥取県人権文化センター専任研究員)
演題 「部落差別があり続ける社会」を変えるために

人権と福祉のまちづくり講座(中央人権福祉センター)

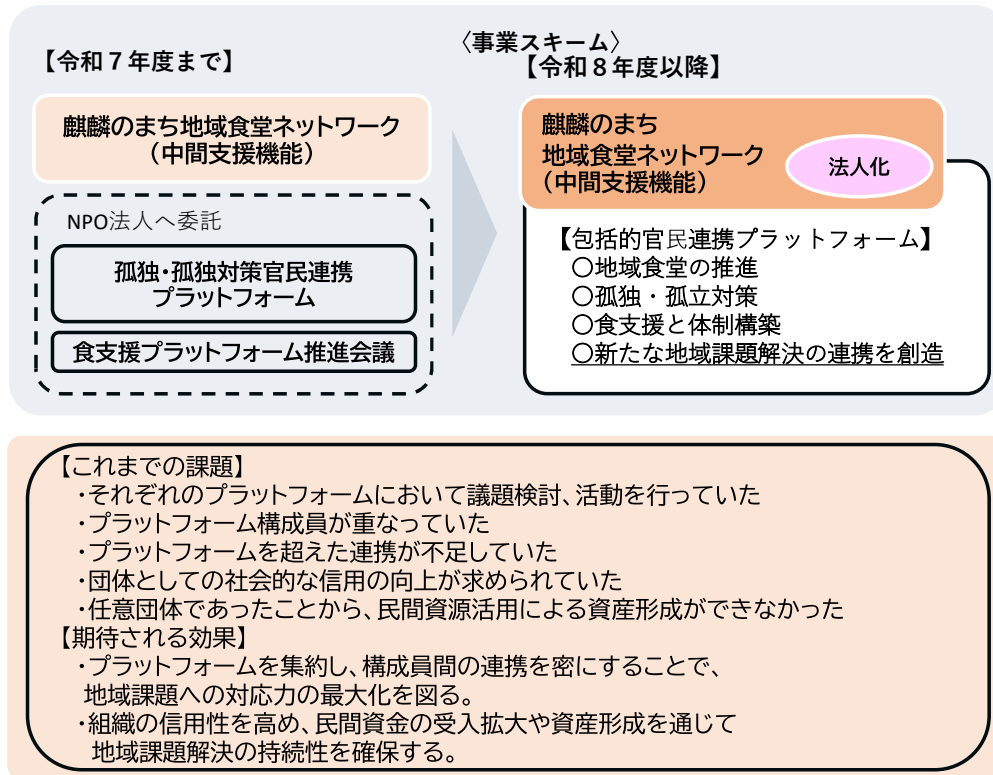
日程 8月8日～10月15日 講義・講演会 全5回
場所 人権交流プラザ 3階大ホール
参加 66名(8月7日時点)
内容 メンタルヘルス共通講座
「3回の講座でメンタル不調を楽にし、自分らしく生きる」
(シリーズ全3回)
講師 カウンセリングルームたいよう 代表 松田寿一さん
*他 性的マイノリティ講座 1回 アンコンシャスバイアス講座 1回

男女共同参画研修(男女共同参画課)

日程 秋以降
対象 係長級の職員(予定)
内容 ジェンダー平等の視点で公平な市民サービスの提供につなげることを目的に、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づく研修(予定)

麒麟のまち官民連携プラットフォームの包括化と麒麟のまち地域食堂ネットワークの法人化について

急激な人口減少、世帯の単身化が進行し社会的孤立が深刻化する中で、本事業により**官民連携による中間支援機能を拡充**し、家族機能の社会化、食支援、居場所づくりなど様々な**地域課題に対応する取組を創造**します。また、**民間資源などの活用**により公費負担が拡大することなく、組織運営と地域課題解決機能の持続性を図ります。



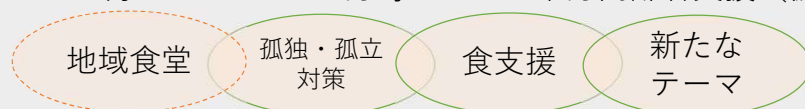
【団体概要】

名称	一般社団法人 麒麟のまち地域食堂ネットワーク
所在地	鳥取市幸町151番地
設立年月日	令和8年3月6日
代表者	代表理事 佃 亜紀
設立経過	食を通じた交流や体験、学習の場として支え合うコミュニティを形成し、子どもから大人まで誰もが使える、安心安全な居場所づくりを支援することも目的に寄付等で集まった食材などの引き受け先となり、各地域食堂へ分配を行う「鳥取市地域食堂ネットワーク」を2017年に設立した。 その後、活動を麒麟のまち圏域に広げながら、官民連携による中間的支援機能を拡充し、様々な地域課題に対応する取り組みを創造すること、また、民間資源などの活用を図るため、一般社団法人格取得をめざし、登記を完了した。
基本理念	麒麟のまち圏域を中心とした広域連携及び官民連携を通じて子どもから高齢者に至る多世代の居場所づくりへの支援活動を行うとともに、これらの活動を推進する地域住民、行政及び民間企業等の関係者に対し、その活動をサポートすることを主たる目的とし、地域共生社会の実現に向けた取り組みに寄与する。
定款記載事業	(1)地域食堂等における運営への支援事業 (2)子ども・生活困窮者・高齢者・障がい者等の生活問題に関わる支援事業 (3)寄付や提供食材等の共同管理 (4)ボランティア等の人材確保及び教育支援 (5)社会貢献に従事する団体等との連携事業 (6)福祉・医療・教育等に関わる地域課題に向けた先進的事業 (7)孤独・孤立の問題について総合的な対策を推進する事業 (8)多様な食料の提供等を通じて、円滑な食品アクセスを確保するための計画の策定・実行等を行う事業 (9)前号事業による提供品の回収及び子ども食堂等へ配布する事業

官民連携プラットフォームの包括化

開催予定： 7月28日 テーマ「誰ひとり孤立しない地域へ
～『食』と『つながり』で始まる連携～」

11月 テーマ「身寄りのない単身高齢者支援（仮）」



NPO法人 協同組合 医療関係 社会福祉法人 社会福祉協議会 企業・団体 一般社団法人

鳥取市、八頭町、智頭町、若桜町、岩美町、新温泉町、香美町

地域共生社会の実現には、特定の主体に頼るのではなく、地域全体で動く仕組みづくりが不可欠です。そこで、食支援や地域食堂を基盤とした官民連携プラットフォームの運営を、行政主導から「自立的な運営体制」へと移行し、機能性と持続性の向上を図ります。これまで個別に活動していた各団体が、麒麟のまち圏域のプラットフォームに集結することで、互いの課題やニーズ、知見やリソースを共有します。これらを掛け合わせることで、地域課題を解決するための連携の輪をさらに、広げ、新たな価値を創出していきます。

麒麟のまち圏域のさらなる連携強化に向けた運営体制の検討

6月 地域食堂ネットワーク運営委員会、理事会

随時 6町協議（組織の在り方検討）

11月 麒麟のまち創成戦略会議（首長会議）

2月 体制の確立（新たな体制の役員登記）



民間資源の活用

食を通じた官民協働による物流支援構築プロジェクト

活用事業名：休眠預金等活用制度（内閣府）

事業決定：令和8年4月13日

事業名：食支援広域体制整備事業

資金分配団体：一般社団法人全国食支援活動協力会

実行団体：一般社団法人麒麟のまち地域食堂ネットワーク

※全国で4団体が選定され、連携する。

連携地域：中国、四国地方、九州地方

事業内容

鳥取市を中心とした麒麟のまち圏域、鳥取県内では寄贈食品等を受け入れる仕組と分配する仕組があるものの、一方で、全国規模での企業からの寄贈食品は届きにくい状況にあります。

より広域的に、持続可能かつ効率的に届けられる体制づくりや保管施設の確保、物流システムの構築をめざし、寄付マッチングや物流調整のコーディネート、試行を行います。

助成額（予定）

2026年 14,216千円

2027年 15,579千円

2028年 9,205千円

計 39,000千円



つながりサポーター “気づき・つながり”

趣旨

テーマ「ひとりぼっちをつくらない！地域社会の創造を目指す」

- 深刻化する「孤独・孤立」問題に対応するためには、まずは「つながる」ことが支援の第一歩
- 孤独・孤立問題についての研修を実施し、生きづらさを抱える人のSOSに気づける人材“つながりサポーター”を養成。早期支援につなげる
- 個人に対する支援の一環であるとともに、人を孤立させない＝ひとりぼっちをつくらない地域社会の創造を目指す

役割

社会的に孤立している方、困難を抱えていそうだが支援に繋がっていない方に、気づいたら、相談支援機関に、つないで いただく。

実施概要

○受講者数と登録者数

受講者数：1,400人 登録者数：900人

○動画を使用した研修を実施

「動画＋グループワーク」(120分)

○多様な研修機会の提供

地域への出前研修：地域住民、地区社協、民児協、各種地域団体関係者
事業所への出前研修：孤独孤立対策官民連携プラットフォーム構成団体の所属員
市民参加の研修：毎月定期開催を予定(鳥取市内)、広域イベントでの開催
専門職等の研修：生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、相談支援員など支援機関関係者

○情報交換会等の実施：「つながりミーティング」の開催(サポーター同士の情報交換や支援機関担当者との顔つなぎ)
：フォローアップ研修等を実施、さまざまな研修情報の提供

○研修プログラム

- ①動画視聴「孤独・孤立対策事業の背景と麒麟のまちの取り組み」(10分)
「講義：日本福祉大学学長 原田正樹氏」(15分)
「講義：特定非営利活動法人抱撲 理事長 奥田知志氏」(15分)
- ②グループワーク「身近にある多様な孤独・孤立問題」(65分)
- ③まとめ

○テキストの配布

○修了認定
研修修了者へバッジの交付

○修了者の登録
連絡先およびLINE登録により随時、情報提供



15

つながりミーティング



～ひとりぼっちをつくらない！温もりのある地域づくり～

つながりサポーター同士の情報交換と相談支援機関のつなぎ

○中学校区にて開催し、つながりサポーター、支援機関等に参加いただく。
実績(河原、西、高草中学校区で実施、のべ参加者60名)※R7年度末現在

開催目的（つながりミーティング）

- ・テーマ「孤独・孤立のない地域づくり」
- ・地域のサポーター、支援機関（つながり先）の顔の見える関係性
- ・事例をもとに話し合い
- ・答えをだすことだけを目的とせず、交流、意見を聞く

01

自己紹介

気軽なご挨拶とお話しを交
わし、和やかな雰囲気をつ
くります。

02

活動の紹介

つながりサポーターと、地
域包括支援センターそれぞ
れの役割を再確認します。

03

グループワーク

地域での実際の出来事をベ
ースに、何ができたか、何
ができるかを考えます。

04

意見交換・共有

これから取り組める具体的
なアイデアをみんなで出し
合い、共有します。

つながりミーティング開催のお知らせ
～地域にお住いのつながりサポーターの皆さま
ならびに地域の支援機関担当者・専門職の皆さま～

地域でのつながりを大切にし、孤独や孤立を生まないまちづくりについて、
みんなで気軽に話し合う「つながりミーティング」を開催します。

●日時 令和八年七月十七日（金）午後一時半
●場所 (一社)麒麟のまち地域食堂ネットワーク・国本
●申し込み・お問い合わせ TEL 0857-33-0282
●お問い合わせのみ

1

Google フォームから
申し込み

メールでの申し込み



人権に関する市民意識調査について

スケジュール

2026年8月	鳥取市人権施策推進庁内会議
9月	鳥取市差別のない人権尊重の社会づくり協議会
11月	事業者決定
2027年2月	調査実施
3月	分析

1 調査の目的

鳥取市において、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題について、市民の意識の現状とその傾向を把握することにより、今後の人権行政を推進するうえでの検討資料とするもの

2 調査の概要

(1)調査対象 市内全域の15歳以上の3%

	【対象者数】	【人口】
2027年2月	4,700人	155,018人
2016年2月	5,000人	166,030人

(2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法

(3)調査時期 2027年2月

(4)調査方法 郵送により調査票を送付、提出は無記名

3 過去の調査内容

【2016年2月】36問

- ① 人権全般について (4)
- ② 同和（部落）問題について (16)
- ③ 男女共同参画に関する人権問題について (1)
- ④ 障がいのある人の人権問題について (1)
- ⑤ 子どもの人権問題について (1)
- ⑥ 高齢者の人権問題について (1)
- ⑦ 外国人の人権問題について (1)
- ⑧ 個人のプライバシーの保護について (1)
- ⑨ 病気にかかわる人の人権問題について (1)
- ⑩ 刑を終えて出所した人の人権問題について (1)
- ⑪ アイヌの人々の人権問題について (1)
- ⑫ 犯罪被害者やその家族の人権問題について (1)
- ⑬ 性的マイノリティの人権問題について (1)
- ⑭ パワー・ハラスメントに関する人権問題について (1)
- ⑮ 非正規雇用等による生活困難者の人権問題について (1)
- ⑯ インターネットにおける人権問題について (1)
- ⑰ 災害時における人権問題について (1)
- ⑱ 啓発活動について (1)